

研修会報告

令和2年2月15日

文責：輸血検査部門 岩橋 隆之

研修会テーマ「輸血検査における問題解決のプロになろう ～予期せぬ反応に対しあなたは何を考える?～」

開催日時 令和2年2月8日(土) 14:00～17:00

会場 東北労災病院 多目的ホール

司会：東北労災病院 岩橋 隆之

第1部「問題解決の基本を学ぶ ～患者情報、追加検査、結果報告の意義～」

「予期せぬ反応を認めた際に考える事、できる事、すべき事」

講師 東北労災病院 岩橋 隆之 技師

第2部「さあ、困った!こんな時どうする?」

「血液型がわからない!そんな時あなたはどうする?」

講師 東北労災病院 岩橋 隆之 技師

「交差適合試験が陽性に!そんな時あなたはどうする?」

講師 東北大学病院 岩木 啓太 技師

生涯教育点数 専門 20点

参加者 会員参加者 46名 非会員 2名 賛助会員 1名 実務委員 4名 学生 0名 計 53名

内容

今回の研修会は問題解決のプロになる事を目標に2部構成の研修会を企画した。第1部は輸血検査における予期せぬ反応を認めた際に臨床検査技師が成すべき対応について一連の流れを説明した。実際に行っている精度管理方法の説明、異常反応の原因となる代表事例、原因と患者情報の関係性、実際に実施可能な追加検査と原理の解説、結論の導き方、臨床への報告方法の注意点などについて具体的に講演し、可能な限り自施設の業務へ還元し、役立てることができるように解説した。

第2部は上記の内容を振り返る意味も込めて会場参加型の企画を用意した。架空病院で起こる問題に対して症例を疑似体験でき、参加者が意思表示することとなるべく主体的に感じてもらえるように工夫した。私が輸血部門の学術部員になってから初めて参加者が50名を超え、部門長としての任期内最後の研修会であったが、会員のニーズを満たす研修会を企画できたのではないかと感じる。今後も会員の要望に応えられる研修会の開催に尽力していきたい。